

興福寺の寺宝と

9/9 sat
10/15 sun



右：国宝（銅造観音菩薩立像「千手観音菩薩立像内納入品の内」奈良時代 8世紀 興福寺蔵）
左：畠中光亨（無著菩薩（興福寺中金堂法相柱柱絵）平成28（2016）年

関連事業

【参加無料 ただし展示観覧券が必要です。】※会場等変更になる場合があります。
★は要事前申込 ☺は託児あり

畠中光亨氏によるギャラリートーク☺

日時：9月9日(土)14:00～、10月14日(土)15:00～
会場：新津美術館展示室 ※事前申し込みは必要ありません。

講演会「日本画ってなに？～興福寺法相柱柱絵を描いて～」&サイン会★☺

講師：日本画家 畠中光亨氏
日時：9月10日(日) 講演会：14:00～(約90分を予定)
サイン会：15:45～
会場：新津美術館市民ギャラリー
定員：80名 ※事前にお申し込みください。(申し込み方法は下記)
※サイン会へは図録をご購入の方にご参加いただけます。

講演会「興福寺のあゆみと教え」★☺

講師：興福寺貫首 多川俊映師
日時：9月24日(日)14:00～(約90分を予定)
会場：新津美術館市民ギャラリー
定員：80名 ※事前にお申し込みください。(申し込み方法は下記)



多川俊映貫首

美術講座「興福寺の寺宝と畠中光亨展」★☺

講師：新潟市新津美術 館長 横山秀樹
日時：10月1日(日)14:00～(約90分を予定)
会場：新津美術館レクチャールーム
定員：60名 ※事前にお申し込みください。(申し込み方法は下記)

興福寺僧侶のみなさまによる講話☺

*興福寺のことをわかりやすくお話しいたします。
日時：9月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)
10月13日(金)・14日(土)・15日(日)
各11:00～/14:00～(約20分を予定)
会場：新津美術館展示室 ※事前申し込みは必要ありません。

ワークショップ「散華を描く」★☺

講師：日本画家 畠中光亨氏
日時：10月15日(日)9:30～12:30
会場：新津美術館市民ギャラリー
定員：30名 ※事前にお申し込みください。(申し込み方法は下記)

★申し込み方法【先着順】

025-243-4894

新潟市役所コールセンター
(8:00～21:00年中無休)

にお電話ください。
※参加したい事業名と実施日時をお確かめの上お電話ください。
※電話申し込み期間：8月22日(火)～(定員になり次第終了)
お問い合わせ：新津美術館 TEL:0250-25-1300



コラボレーション企画

カフェ COROの期間限定メニュー 《畠中光亨コレクションの茶碗で楽しむお抹茶》

新津美術館2階カフェ COROでは、
畠中光亨氏のコレクションの茶碗で
点てたお抹茶をご用意しております。(数量限定)

新津美術館のやさしいサービス

あいてマンデ～!

月曜日でも開館します。[10/2]

子どもタイム

会場に音楽が流れますので、親子で会話を楽しみながら鑑賞ください。
会期中の第1・3木曜・日曜日 10:00～13:00 [9/17・21、10/1・5・15]

託児サービス 無料(要事前申込み・先着順)

お客様の鑑賞中に、お子様を専門スタッフが預かりいたします。
[申込方法]各期日までに電話(0250-25-1300)でお申込み下さい。
[対象]生後6ヶ月～就学前のお子様
[定員]各回3名程度

●鑑賞のための託児サービス

会期中の第2・第4の木曜・土曜日 [9/9・14・23・28、10/12・14]
【時間】10:00～12:00 【申込期日】利用日の3日前

●関連イベント託児サービス☺

9/9・10・16・17・18・24・10/1・13・14・15
【時間】イベント開始30分前～終了30分後 【申込期日】利用日の7日前

展覧会のご案内

◆同時開催

新津美術館コレクション展Ⅱ
所蔵品にみる工芸

9月9日(土)～11月5日(日)

◆次回展覧会

政令指定都市移行10周年記念
新潟市の隠れた名品展
11月11日(土)～12月24日(日)

◆新潟市美術館の展覧会

石川直樹 この星の光の地図を写す
8月10日(木)～9月24日(日)
TEL:025-223-1622



交通のご案内
●JR古津駅から徒歩約25分。 ●JR新津駅からタクシー約15分/ JR矢代田駅からタクシー約5分。 ●磐越自動車道新津ICより約20分/新津西スマートICより約15分(新津西スマートICは会津若松方面の出入りはできません)。 ●JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行き」(発車時刻9:25、13:10)に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・潟東行き」(発車時刻11:30*、12:45、15:30*)に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。【*は平日のみ運行】

NAM 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
花と遺跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)
TEL: 0250-25-1300 http://www.city.niigata.lg.jp/nam/

《地蔵菩薩立像》鎌倉時代 13世紀 興福寺蔵



興福寺の
寺宝と
畠中光亨展

100円
割引券

当日券のみ5名様まで・割引併用不可

興福寺の寺宝と 畠中光亨展

法相宗大本山興福寺は、創建1300年を経た奈良の名刹です。その歴史をたどると、天智8(669)年に藤原鎌足が創建した京都山科の山階寺を起源とし、飛鳥の厩坂寺を経て、藤原不比等の発願により和銅3(710)年の平城京遷都とともに、現在の地に移り興福寺と改めました。

興福寺は、幾多の戦乱や火災に見舞われ、堂塔の焼失、再建を繰り返しながらも、法相教学の中心寺院として栄え、優れた仏教美術を育み護ってきました。幕末から明治期の廃仏毀釈では寺領が失われましたが、現在、境内の発掘調査をもとに、創建時の伽藍の復興を目指しています。

2018年秋、創建当時より伽藍の中核である中金堂が、約300年ぶりに再建され往時の姿に復元されます。今回の中金堂再建では、内陣に存在したと史料に記されていた、法相宗の祖師を描いた「法相柱」もあわせて復元され、仏教に造詣が深い日本画家、畠中光亨氏がその柱絵制作を担いました。

本展では、興福寺中金堂の再建および法相柱柱絵の完成を記念し、すべての祖師画像を奉納に先立ち特別公開いたします。奉納後は柱に貼り上げられるため、祖師画像を間近で観覧できる最初で最後の機会です。あわせて、人々の信仰を集める興福寺の国宝、重文を含む寺宝を紹介するとともに、仏陀の精神をたどる畠中光亨作品も展示します。

古から伝わる寺宝と、新たな祈りの対象となる柱絵を通じて興福寺の文化と日本画の真髄に触れ、優れた仏教美術の世界を心ゆくまでお楽しみください。



興福寺中金堂完成図

中金堂法相柱完成イメージ

◎法相宗

インドで弥勒を祖として生まれた、心の深層心理を探ってゆく唯識の思想を、無著と世親が大成させた教学、「唯識学」に基づく。この思想を中国の唐時代に玄奘(三蔵法師)が持ち帰り、その弟子慈恩大師が法相宗として確立した。日本へは、渡来僧や入唐留学僧により他宗派とともに伝えられた。

畠中光亨

HATANAKA KOKYO



撮影：秋山庄太郎

1947(昭和22)年、奈良県生まれ。1984、93年横の会、2008年NEXT日本画・京都からの表現に参画。日本内外での展覧会への出品、個展の開催多数。1977年シエル美術賞展にて一等賞受賞、78年第一回東京セントラル美術館日本画大賞展にて大賞受賞、他受賞歴多数。現在「Artist Group「風」を中島千波、中野嘉之とともに主宰。インド美術研究者。元京都造形芸術大学教授。

6

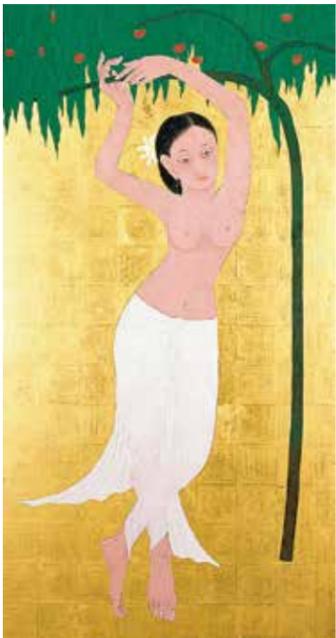


畠中光亨 仏陀の精神世界

興福寺の法相柱の柱絵を依頼された畠中光亨氏は、多くの仏教の題材から作品を制作しています。仏陀にまつわる作品により、日本画の真髄をたどります。



7



9

10

6. 《維摩空を説く》平成28(2016)年 7. 《供養について》[部分]平成22(2010)年新潟市新津美術館蔵 8. 《一灯》平成27(2015)年 9. 《濁水に汚されない蓮のように》平成26(2014)年 10. 《マーヤ》平成28(2016)年

1



2



興福寺の寺宝と 法相柱柱絵

興福寺の国宝・重文をはじめとする貴重な寺宝を紹介するとともに、再建中の中金堂内陣の法相柱に貼り上げられる予定の、畠中光亨氏により描かれた柱絵を公開します。間近で見ることができるのは、これが最初で最後の機会です。

3



4



5

1. 重要文化財《房子入吉祥天尚像(寛慶作・命尊筆)》南北朝時代 暦応3(1340)年 2. 奈良県指定文化財《法相曼荼羅図》室町時代 15世紀 3. 国宝《梵字千手観音菩薩小呪鏡(千手観音菩薩立像内納品の内)》鎌倉時代 13世紀 4. 《聖徳太子立像》江戸時代 17~18世紀 5. 畠中光亨画 興福寺中金堂法相柱柱絵 平成28(2016)年 上段右から《無著菩薩》《世親菩薩》《護法論師》《戒賢論師》《玄奘三蔵》《玄奘僧正》《善珠僧正》《別當行賀》下段右から《慈恩大師》《淄州大師》《漢陽大師》《真興上綱》《権別當藏俊》《解脱上人》